第１問（20点）

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	受取手形	売掛金
繰越商品	立替金	前払金	他店商品券	建物
建物減価償却累計額	備品	備品減価償却累計額	土地	支払手形
買掛金	前受金	当座借越	仮受金	商品券
所得税預り金	社会保険料預り金	売上	受取手数料	受取利息
雑益	仕入	発送費	給料	旅費交通費
通信費	消耗品費	租税公課	雑費	損益

1. 小口現金係から、次のとおり１週間分の支払報告を受け、支払額と同額の小切手を振り出した。
   文房具代￥6,000、印紙代￥18,000、切手代￥10,000、茶菓子代￥3,000
2. 商品券の精算をするため、当店が保有している他店発行の商品券￥400,000と、他店の保有している当店発行の商品券￥580,000とを交換し、差額については現金で決済した。
3. 所轄税務署より納期の特例承認を受けている源泉徴収所得税の納付として１月から６月までの合計税額￥282,000を、納付書とともに銀行において現金で納付した。
4. 従業員が出張から戻り、さきの当座預金口座への￥880,000の入金は、得意先神戸商店からの売掛金￥600,000の回収および得意先明石商店から受け取った手付金￥280,000であることが判明した。なお、入金時には内容不明の入金として処理してある。
5. 従業員への給料の支払いにあたり、給料総額￥580,000のうち、所得税の源泉徴収分￥35,000と本人負担の社会保険料￥50,000、および従業員個人の生命保険料を立替えていた￥20,000を差し引き、残額を普通預金口座より振り込んだ。

第２問（10点）

当店は当座取引を二勘定制によって記帳し、売掛金および買掛金を人名勘定によって記帳している。下記の当座預金出納帳、売上帳および買掛金元帳の記入にもとづいて、答案用紙の各日付の仕訳を示しなさい。なお、各日付の取引は、下記の各帳簿にすべて記入されている。

当座預金出納帳

平成29年		摘要	預入	引出	借／貸	残高
6	1	前月繰越	900,000		借	900,000
	5	千葉商店売上げに係る当店負担発送費		12,000	〃	888,000
	12	栃木商店、仕入れ		600,000	〃	288,000
	27	群馬商店、掛け代金支払い		579,000	貸	291,000
	30	茨城商店、掛け代金入金	860,000		借	569,000

売上帳

平成29年		摘要	金額
6	5	千葉商店　掛	
		Ａ商品　210個　@3,300	693,000
	15	茨城商店　掛	
		Ｂ商品　240個　@2,400	576,000
	20	茨城商店　掛戻り	
		Ｂ商品　20個　@2,400	48,000

買掛金元帳

群馬商店

平成29年		摘要	借方	貸方	借／貸	残高
6	1	前月繰越		579,000	貸	579,000
	27	小切手振出し	579,000			0

栃木商店

平成29年		摘要	借方	貸方	借／貸	残高
6	12	仕入れ		365,000	貸	365,000